

一九五三年の定期総会に於て、役員改選を
 行つたが、当選者が全部辞退して受け前、その
 項、へネーのみにあつた一般の日本人社会が
 荒況的とあり混乱状態に在つたので心よ人引
 受ける人が居た。総会のやり直しを二夜も
 して、漸やく会長岡田、副会長、幹事北川
 、議長吉野の新幹部と七人の評議員を整理や
 りに押しつけた。漸やく陣容を刷新した。井上氏
 の死の床の念願はこの事を意味したのがある
 同年十二月、井上氏の死後、夫人がねさん

10X20

C-1

は一女ある子（当時十二、三才）を伴ひ、神
 白の実兄をたより歸せられたり
 △苗の市場統制に關し、組合ブローカーのテ
 ヲキ一氏、市場監督官グラント氏、領果物課
 長クラーク氏等の市場講演がへ、農會本部
 ルを聞かれ、農家は多くの事を學んだ。山家
 氏始終通訳の力をとられたり
 △一九三四年十二月の臨時總會に於て、式場
 益新氏より、副市新官の報告あり
 一、砂糖大取引工場を建てたが、噸數生

10X20

1-7

生産の必要あり当地方には当分見込みありし
 二、主体農業を主張しナツク類を奨励
 一、ズルナツク、アルモルド三年目に結
 束するブド、ワイ、用要多し、又左
 日本種山サ、等有望いづれも問作に適す
 一九三三年、フレキ、ハレ、日本人農家の
 統一機関とし、フレキ、ハレ、農者協会の創
 立、此、その方針をたの如く定む
 一、本会をフレキ、ハレ、農者協会と称し
 事務所をヘネ、に置く、但し必要に應じ得

農者協会

榮屋

10x20

C3

新報

經濟叢書

一、目的は日米同業者全体の福利の爲めに、
常にこれら果物業者の政治模範及び農務
道路と密接なる連絡を保ち、左記諸項の研
究及び実践を爲す。
二、農産物市價の維持、口販路の拡張
三、購買、販売上の組合相互の連絡
四、生産物の品質改良、ホ、農産物輸送
五、仕入の引き下げ、荷造りの改良ト、一般
六、同業組合問題の研究
七、副業の研究

10x20
A. D.

一、本会組織
 一、本会組織は、各地の邦人農業団体を以て組織す
 二、各聯絡団体は、所屬會員二十名毎に一人
 の代表を選出する
 三、代表者の互選により、委員長、幹事、會
 計各一名、監査役二名、常置委員を各一本
 會選出の衝に當らしむ。常置委員は、河上
 り三名、河南より二名を選出する
 四、本会如何なる場合と雖、高取引の實力
 に關與せぬ

10X20

10

経済叢書

五、本会の

経済学

五、本会の財源は聯絡団体の會員一人一人

年五十仙の割に、聯絡費を山王収す。

六、本会の事務のため出張する場合、実費を

支給す。總會に集る代表者の旅費は各団体

の負担とする。聯絡団体はたの通り

ミツシヨニ農會、ウオノクノアルビオリ

オラスルニ農會、ヘネービワドメト、

リツケモド、サレ、ポイトマニ各農

會の七団体

一月十日の代表者會に於てたの役員を互

10X20

C6

へ不^レ日本^ノ農村^ノ社会^的発展^ノ道程^ハ、
 別項^ニ年代^を追^うて畧^記し^たが、経済^的方面^ニ
 即^チ作物^ノ販賣^方法^ニつ^いては、事^個個^ノ販^賣
 布^ニ関^スる^ので、農^令と^して^これを強^制統^一
 す^るが^出来^ない^実状^ニあり、世^有余^年の^間
 に義^勇の^紆余^曲折^があ^つた^の。其^ノ経^路の^大畧^ヲ
 左^にど^うて日^本蚕^業の^消長^を記^録し、本^史
 へ^の補^足と^する。一^九二^二年^へ不^レバ^シフ
 イ^ワク、ベ^リ、知^ロ、ヤ^合社^が創^立せ^られ^ル

る ~~前~~ は、個個に近東市場に依託販売を送り
 出していったが、農家が ~~増~~ へ生産物が増したの
 で一年販売人としてエゼット・ギラウドは依
 托して牙一世界大戦四年間はほとんど拍子で
 方価に売り捌いたが、終戦後は近郊市場では
 売り切れず、山東市場には買入積みにして発送
 するための必要上、一九四一年春、ヘネー、
 ハモルド、オノックの農家約五十名が一団
 とあり、エゼット・ギラウド会社と半半の出
 資に依つて前記 P B G 会社を組織し、冷蔵庫

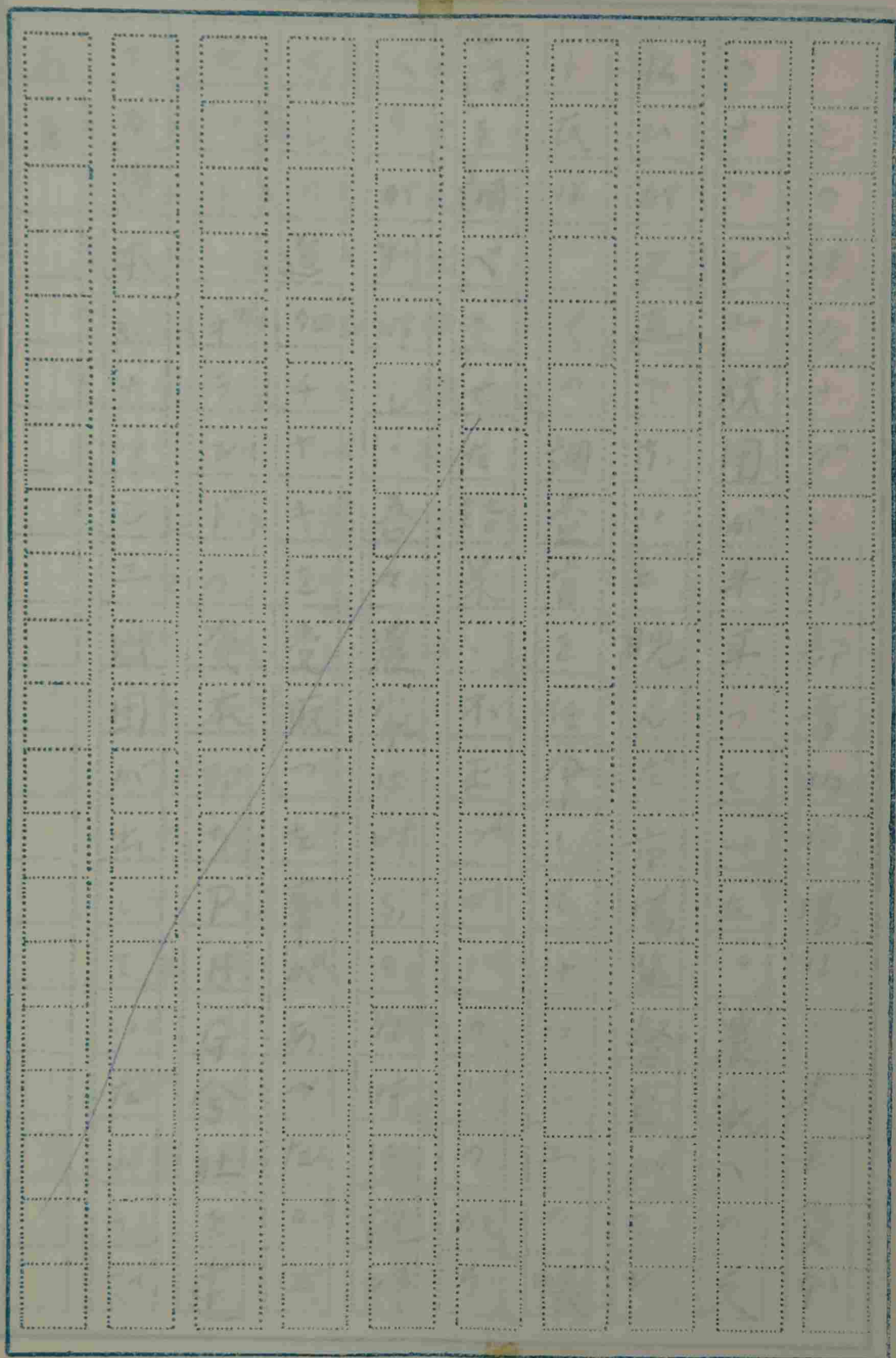
10X20

K2

左建と苺の貨車積みをし、近東市場に出して
有利に販売した。そして今年増加する生産苺
處理の必要上、シヤム、フィリピン、及
び其他諸製造に手で拡張し、その合次額七万
に達した。

10X20

K-3



10x20

FOR RESEARCH PURPOSES ONLY
NOT TO BE REPRODUCED WITHOUT PERMISSION
Rare Books & Special Collections and University Archives
The University of British Columbia

あ	て	ゼ	あ	く	さ	ト	松	の	こ
る	る	ツ	し	り	る	氏	ひ	ナ	の
	資	ト	の	が	を	は	が	ッ	頃
	本		追	判	調	、	正	シ	カ
	も	キ	加	明	べ	そ	面	工	十
	十	ラ	千	し	さ	の	で	財	の
	ッ	ビ	ヤ	、	せ	調	ホ	用	タ
	シ	ド	キ	五	た	本	い	が	の
	工	の	を	々	結	官	と	牛	東
	財	資	受	農	果	を	見	取	部
	用	本	取	家	、	任	ん	っ	青
	が	即	つ	は	不	令	た	て	物
	出	ち	た	時	正	し	市	い	市
	し	P	事	ホ	ブ	て	場	た	場
	て	B	が	ホ	ロ	十	監	。	は
	い	G	あ	ぬ	カ	ッ	督	農	、
	た	合	つ	時	カ	シ	官	家	米
	よ	社	た	に	の	工	カ	の	玉
	う	を	の	説	か	の	ラ	の	資
	て	建	工	明	ら	帳	シ	反	本

10x20

K-27

10x20

商人とは運命的に破綻会社が生産農家を失う
 ようになり、一九二四、五年の不況時代はP、
 B、G会社その他の弱小会社は金融に窮し、
 大会社に對抗するたけに、五社合同してウエ
 スターズ、パワカ、会社して出稼したか、三
 十年の営業で十数万弗の赤字を残して無惨に
 破産した結果、P、B、G会社も巻添えをく、
 農家の出資三万五千弗は遂に一未の煙と化し
 てしまった。この会社破産の年一九二七年、
 ハネー、ハモズド、の同志七十名が結束して

10X20

K-4

、農家自身が所有し、管理する。また、
 4、協同組合という純農家だけの協同販
 合を組織した。これはPBG会社に対してい
 一種の反旗を揚げたことにあつた。PBG
 G擁護派の一派は、ノース・フレキ
 の名の下に結束し、ジャム毎はウエス
 パツカーにと契約して、いたため、破産に際し
 て、ノース・フレキ組合員は約一万
 ストロベリーを送り込んだ。王子を
 てしまった。協同法はアルバタ、サ

10X20

45

ン、マニトバ各町の近東市場へ小口送りで依
托販売してゐたの一方メープルリッヂ組合は
政府の技師の監督の下に冷却装置をして貨車
積みで送つた。この方法で依託販売の小口送
りとは平均一箱廿五仙の差が出来、組合側
がよかつたのである。一九廿一年春に両組合が合同
する事にあつた。其年終には營業を終つた
の形の上では二組合合同で村内和平のため
も立派であつたが、會員個個として必おし
融和一致をいふ必要があつた。翌年の春の総会に

10x20

K.6

「支配人山家を代へろ」といふ声は、
物側から起つた、何等明確な理由はあつた
。これは「組合」として立派に営業してゐるの
に支配人を代えるやうな内訌を起すから金融
一切お断り」と銀行支配人の宣告で、このト
ラブルは解決した。すると或る者は総会で「
組合は貨を積みだけ扱つて、パズクーバ市場
とジャム市場は自由売りによすべし」と主張す
る者が出た。組合といふものを全然無理解な
のであつた。それは組合を破壊するものだと

10x20

54

西洲の大論争とあり組合派が緊急動議を出し
「吾等の組合を守り立てんとする者は二百弗
のボンドを積むべし、積まざる者は抜け売り
の意圖ある者と認めし」この議案通過に依つて
、二派合同後三年目に再び分裂し、一派はこ
のセイロンの商人セロトウル・ラートン社に箱
詰め、の山東送りを依頼した。一九四三年のス
トロベリー、シヤム菓の市場不況のため同會
社はシヤム菓のつみ方を中途で差止めた。そ
の翌年は順調な天候に恵まれ、セロトウル會

10X20

55

社は毎を冷却せしに十五貨車積み出し、多く
微が生じ、組合の冷却した貨車積みと比べ
、一万七千箱平均一箱十仙安にあつた。それ
やこれやで、リースレ、組合の内部に不平
が起り組合は有名実にあつた。は一九卅四
年の暮で、同会社との契約は三分二以上取消
されたりピットノドの日系農家五名も結
束して同会社から脱出し、ミツビシのバ
ンパイ組合に加入した。同組合はハモ
ノステーションには集果場を建て、入
入不方面

10x20

56

に、角虫平を伸し、機会ある毎に、
 知、組合員を勧誘するの事、二組合の間、
 戦、旗を揚げ、るに到つた。こ
 前、速の通り、一九二六年、ビ
 破、産、一、歩、牛、幕、と、り、一、九、二、七、年、春、メ、一、ポ、ル、
 り、ワ、ダ、組、合、が、生、れ、る、に、及、ん、で、村、内、は、二、派、に
 分、れ、一、は、邪、氣、な、子、供、達、ま、で、が、あ、ち、派、こ、つ
 ち、派、と、別、れ、放、ぶ、よ、う、に、あ、り、心、あ、る、親、達、を、し
 て、深、え、さ、せ、る、に、到、つ、た、こ、そ、の、結、果、一、九、二、七、年
 の、合、同、と、あ、つ、た、の、で、あ、る、が、人、心、に、変、へ、難、く、再

10x26

58 57

旧態に復した。これは眞に組合主義を理解せ
ず、自己の利益のみを考へてゐる野心家の煽
動によるもので、その当時の記録には、時の
領導者仲裁を試みたようであるが、ノース
・ウェストの幹部は、二組合共営業成績は伯仲
してあり、村内中頗る平穏である、合同する
ことに依つて却つて波乱を生ずる患ひを保
せぬ。さうこの案には打ち捨てられ、
、これに依る手引きをした。ノース・ウェスト
の幹部吉野氏は再び合同を頻りに運動してゐ

10X20

58

たが、他の幹部と意見合はが、一方セトラ
ル舎に生産品を扱はせていた人々の三分の二
は一九四四年内にメーパルリツヂ組合に復帰
を声明したが、同年十二月七日の連合総会
にヒセトラ流は四、五人出席、吉野氏が
立ち上り再合同するについで、(一)支配人山家
が社会運動や教育運動をするべきことを林氏は(二)成
るべく二世を使い(三)毎朝トラツクに乗って南
京街の毎売りを監督させ、(四)その爆弾動隊
を出し、メーパルリツヂ組合がこれに承諾の

10x20

59

声明をせよといふの如うな二の破天荒の
 発言に、組合員は呆れるばかりであつた。
 七、トールズの出席者四、五名の内に高津俊
 輔氏がいた。彼は「自分はい、ポルリッダ
 組合の外部に居る種種の悪宣傳を聞かされて
 おり、それが事實か否かを知らぬが、将来予
 り強ひて下すべし。吾等は組合を発展すべく、
 が当然だから自分としてはい、組合に入つて内
 部をよく見せて貰ひ、不審があつたら正して
 見たい。それと自分とは誰とでも相談せしむるの
 便

10X20

60

り決心しをやる」と自信を述べた。この当時
の人々の中には、協同販売或は市場の動きを
見ても、自分の母の販売方法を決めるのはお
く、勧誘する人が、同業人の先輩だとか、お
世話にあつたとか、お金の融通してもらつた
とか難言な情実関係から販売先を定めるの
を、彼の母が扱つて金儲けした人は、彼
の幸、不幸の機会を巧みに捉へるのみ
日本人の義理堅さを巧悪用すればよいと或る
商人は言つた。従して何時にばすべしとの
を

10X20

解決する、一時に人々を自覚へと導く、自
 覚の力、これをデモクラシーの原動力である
 の、農家員すべてがその立場を自覚した時に、
 協同組合が真にその性能を充分に発揮出来る
 のである。
 一九二五年頃、レバレーの農家の生産
 物が、山東市場に全統制に束ねられ、その
 分の頃既に之流に組織化して、バスター
 バ島の英系農家の被害が甚だしく、排日土地
 法とあつて、牧場等に提出をせんとした頃、

10x20

62

農務省の肝入りで、ビロシ、州産の茶を一
 とめにして統制販売をせんとする運動が始め
 られた。加味のサレキス、オレシ、サハ
 組合の範を採り、その法律顧問アロン、サハ
 イ口氏を招いて、五ヶ年出荷契約の下に、こ
 しの日、市に聯合販売本部をおこし、ヘネーに
 も集果場を建て、堂々と出稼したが、当業者
 に販売統制の経験が、今更には組合行動の訓
 練が、不成績にやり、営業三ヶ年を遂に破
 産した。ヘネーはビロシ、ビロシ、会社が大

10X20

63

はやつていた頃で、多くの犠牲はあつたが、
、ミヤシロミミミは、組合が新西院のミミミ
キヤナリに冷凍していた四角の箱が費用
たおれにあり、日本人農家も多大の損害を蒙
けた。このミミミ、英聯合販売の大組合は遂
に破産し、ヘネの集果倉庫は全焼の厄に會
つた。その敷地をノールリツが組合が買つ
て、倉庫、冷蔵庫を建てたのである。
一九四一年ジャム市場が不況を、キヤナリ
も半年の半分も買へない事が判つたので、

10X20

64

フレカバレー及びバレーの田、白楊
 同組合及びエッパ代表がビクトリアの
 議に出頭し、陳情して政府の産業資金を五
 弗借り出し、各組合はその年のヤマモを砂
 糖漬けにし、翌年有利に売り捌いた。その前
 年メロプルリヤ組合が他の組合に先んじて
 ワシントン州から買つて来て据えつけていた
 、毎々洗果機が、年本とあり各地の日、白の
 組合が洗果機を作り、滞りなく砂糖づけ楷造
 めにする事が出来た。一九二八年の季節は雨

10X20

65

読者、東部送りが充分に出来た、シヤム
に徴が出てキヤナリ、は農家の足許を見て、
目方を削り、値段を切る、農家はそれを指し
帰っても捨てる以外に處置をしてある。玄く
泣くキヤナリ、の言ふ通りには、母を置いて帰る
以外に仕方がない、その年或る大キヤナリ、
には、運賃が払はれずに宙に浮いた、英加四十噸
一八万ドルあったという、口こした非常時の
ために農家の組合で、餘剰金の處理と、その市
場の探査に頭を悩ましていた。

10X20

66

前速の通りジャム等の餘剰ものの處理法や
市場がなくては、いつまでもキヤナリと奴隷
たるを免れたいの何とかしければ農家の頭
は永久に揚りぬ。豊作の年、雨の多い年には
自然^値は下けられる、擇り喰いされる。へネ
しには特にわけのダラッポ種が受いのその
ジャムは果中飽足だと、進んで買つてくれ
ない。箱詰めにして、小粒で売りにくい。こ
の早種は走り~~種~~か他^種より一週留乃至十日
早いので、高價に売れるから生産を止められぬ

10X20

67